

▲地区座談会の様子

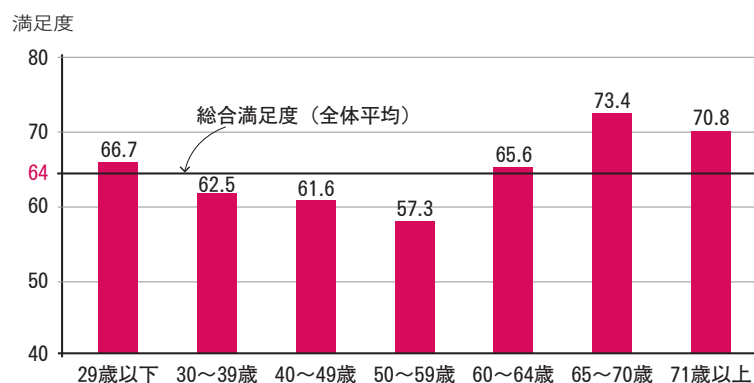
町では、町民の皆さん本位の行政を進め、満足度が高いまちづくりを行うため、平成13年度から「町政への満足度調査」を実施しています。今年度も第5次芳賀町振興計画に位置づけられた7分野29施策の満足度と重要度について、調査しました。

町では、この結果を今後の計画や予算編成などの行財政運営に反映し、町民の皆さんにもっと満足していただけるまちづくりを目指していきます。

調査にご協力くださった皆さん、お忙しいところありがとうございました。



総合的に判断して、芳賀町に住んでいる満足度はどうですか。



7月から9月にかけて地区座談会を12大字で実施し、その中で町の重点施策を説明し、地域からの要望事項や事業に対する質問を受けています。回答や対応状況については、自治会長さんに後日説明しています。

町民満足度調査について、宇都宮大学国際学部の中村祐司教授に分析をお願いしました。総合満足度についての中村教授のコメントを抜粋して掲載します。

中村教授 (宇都宮大学) のコメント

今回の調査では、総合満足度が64.0となりましたが、60ポイント台後半に目標を設定して欲しい。そうすることで70ポイント台も間近になります。総合満足度70%の町となれば、行政だけでなく町民も全国に向けてこれまで以上に胸を張れるし、そのこと自体が町の強力なPRとなるはずです。

年代別では50～59歳の満足度がやや低い。65歳以上では70ポイントを超えているので、いずれも60ポイント台である29歳以下、30～39歳、40～49歳の満足度を向上させる施策も求められるようになるでしょう。

このほか、各分野ごとに年代別・経年変化も含めた分析をしていただいています。中村教授の分析全文と満足度調査結果の詳細は、町ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。



町民満足度調査

検索

調査の内容

- **調査の対象者**
20歳以上の町民の皆さん500人 (無作為に抽出)
- **調査期日**
5月22日から7月11日
- **回答者数**
275人 (回答率55.0%)
- **調査項目**
第5次芳賀町振興計画に位置づけられた7分野29施策について、35の項目を調査しています。このほか、窓口に関するアンケートと各種事業に関するアンケートを行いました。

調査結果の見方

- **「満足度」とは**
施策に関する満足度を「満足」「普通」「不満」「わからない」の4区分で表し、下の計算式により数値化したもの。
100に近いほど満足度が高いことになります。
$$\frac{「満足と回答した人数」 \times 100 + 「普通と回答した人数」 \times 50}{回答した人数 (「無回答」、「わからない」を除く)}$$
- **「重要度」とは**
施策に関する重要性を「重要」「普通」「重要でない」の3区分で表し、満足度と同じ方式で数値化したもの。
100に近いほど重要度が高いことになります。
- **「期待度」とは**
「重要度」から「満足度」を差し引いたもの。
回答していただいた方が感じている現在の状態と望んでいる状態の差を見る時に利用します。

◇結果の概要

■満足度 BEST5

	施策	満足度	重要度	期待度
1	ごみの減量化とリサイクルに積極的である。	71.2	82.9	11.7
2	子どもを産み育てやすい環境が整っている。	68.8	84.8	16.0
3	広報紙や町ホームページ、芳賀チャンネルなどから必要とする行政情報が容易に入手できる。	64.3	67.8	3.5
4	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている。	63.3	75.8	12.4
5	役場の業務や事務処理、財政運営が適正に行われている。	62.5	73.0	10.5

■重要度 BEST5

	施策	満足度	重要度	期待度
1	子どもを産み育てやすい環境が整っている。	68.8	84.8	16.0
2	災害などの緊急事態に備え、迅速に対応できる体制がある。	60.1	83.8	23.8
3	ごみの減量化とリサイクルに積極的である。	71.2	82.9	11.7
4	保険や年金などの社会保障が維持されている。	56.3	81.5	25.2
5	犯罪の防止活動が充実している。	55.4	80.8	25.4